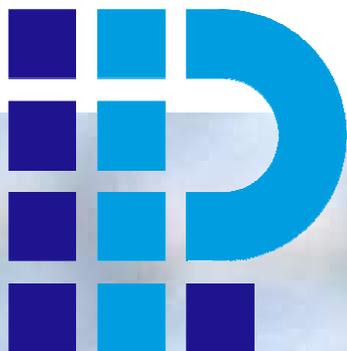


株式会社 ピクセラ
2005年9月期製品説明会

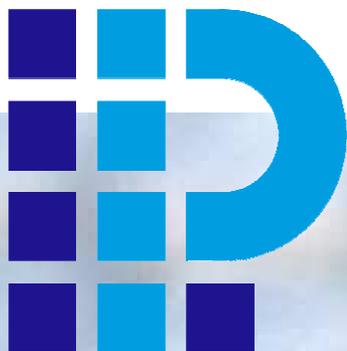
2005年2月15日



足元の業績について

現在の製品展開

今後の製品展開



足元の業績について

現在の製品展開

今後の製品展開

05/9期第1四半期の決算概況

(単位:百万円、%)

	05/9期・Q1		05/9期 通期予想	04/9期・Q1	04/9期 実績
	金額 構成比	前期比	金額 構成比	金額 構成比	金額 構成比
売上高	1,482 100.0	125.5	9,667 100.0	1,180 100.0	7,506 100.0
売上総利益	345 23.3	68.7	2,610 27.0	502 42.6	2,262 30.1
営業利益	△99 △6.7	—	716 7.4	224 19.1	869 11.6
経常利益	△121 △8.2	—	692 7.2	216 18.3	837 11.2
純利益	△159 △10.7	—	396 4.1	121 10.3	478 6.4



第1四半期業績のポイント

◆売上高

□ ハードウェア

- 出荷数量の拡大
ノートPC計画数量達成
- 単価は低下傾向

□ ロイヤリティ

- 出荷数量の拡大
計画数量の達成
- 単価は横ばい

◆粗利益

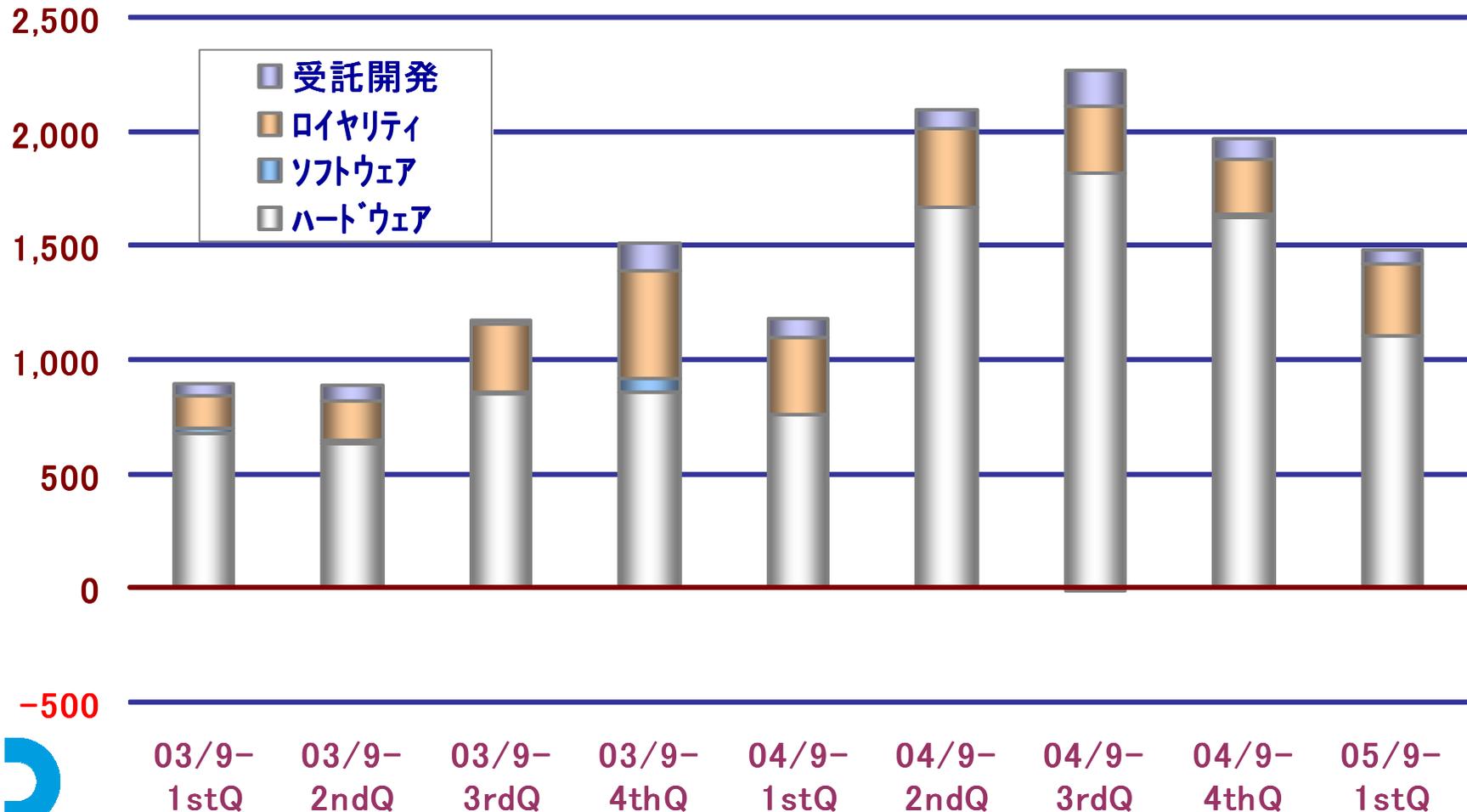
□ ハードウェア

- JVC・SONY向けチップの
開発費用負担による原価
増加(一時的要因)

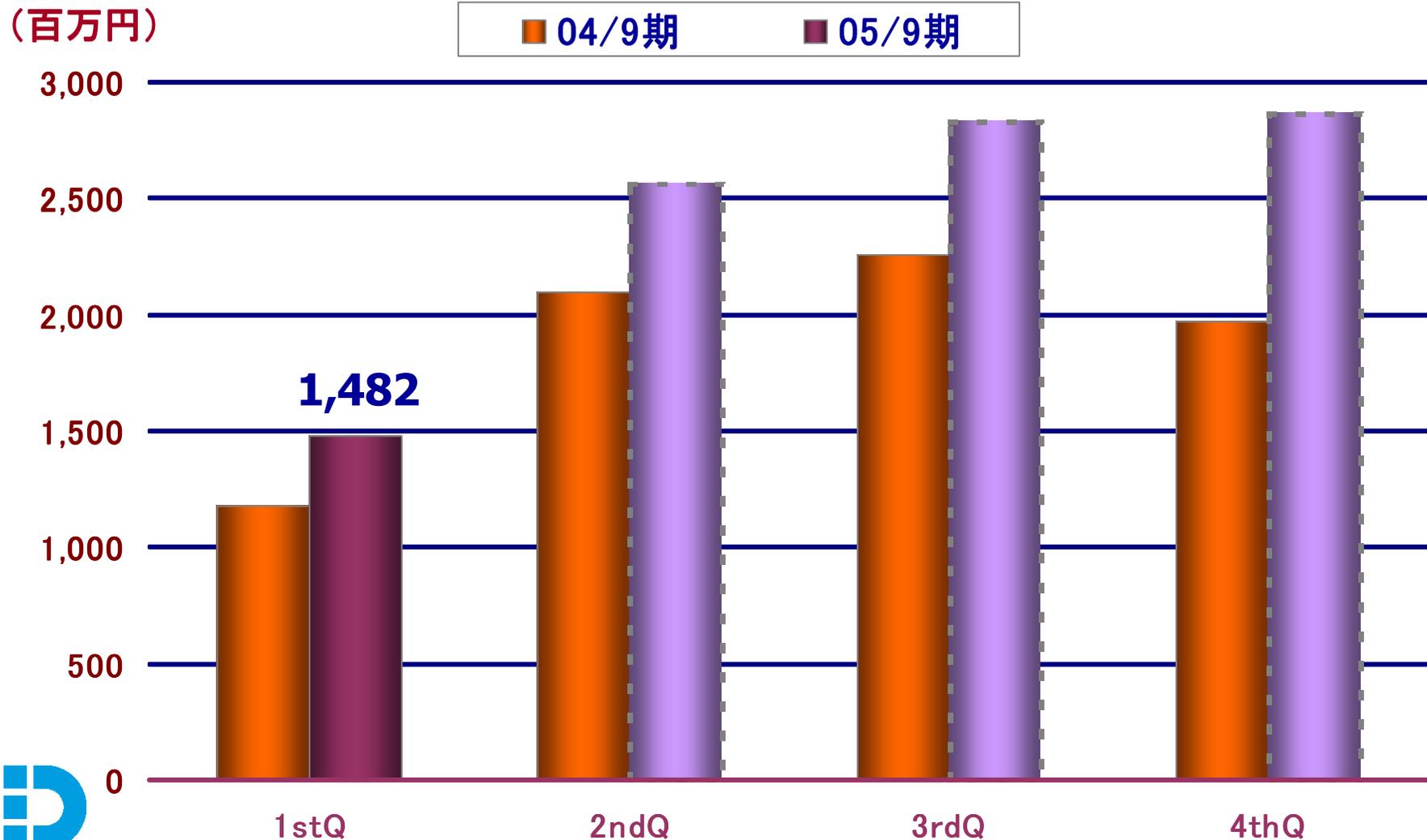


製品別四半期売上高推移

(百万円)



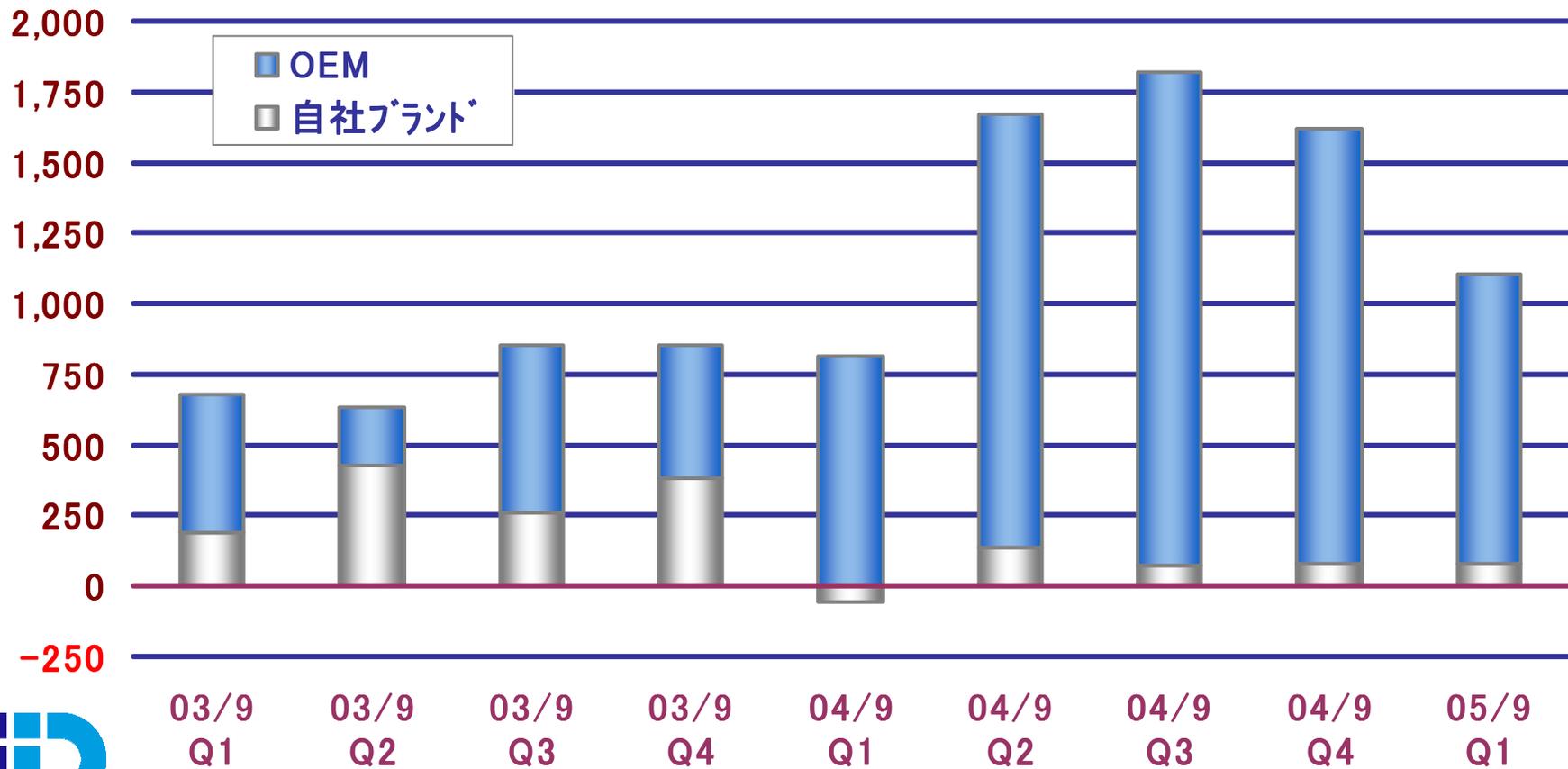
四半期毎の売上高推移



ハード売上高推移

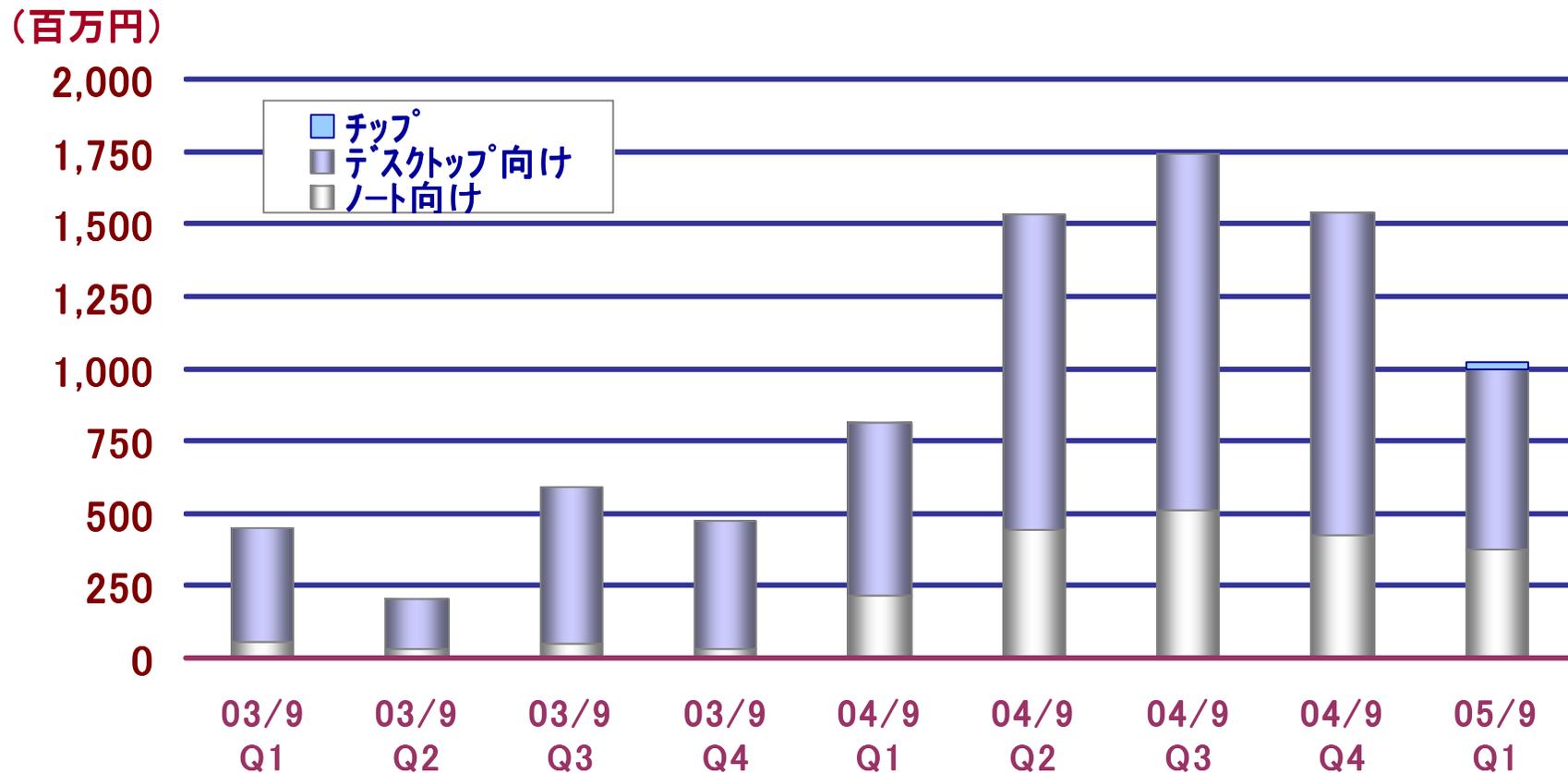
【ハードウェア製品：自社／OEM別売上高構成】

(百万円)



ハードOEM向け種類別

【ハードOEM:デスクトップ/ノート別売上高構成】



原価の状況

【4半期ごとの原価の推移】

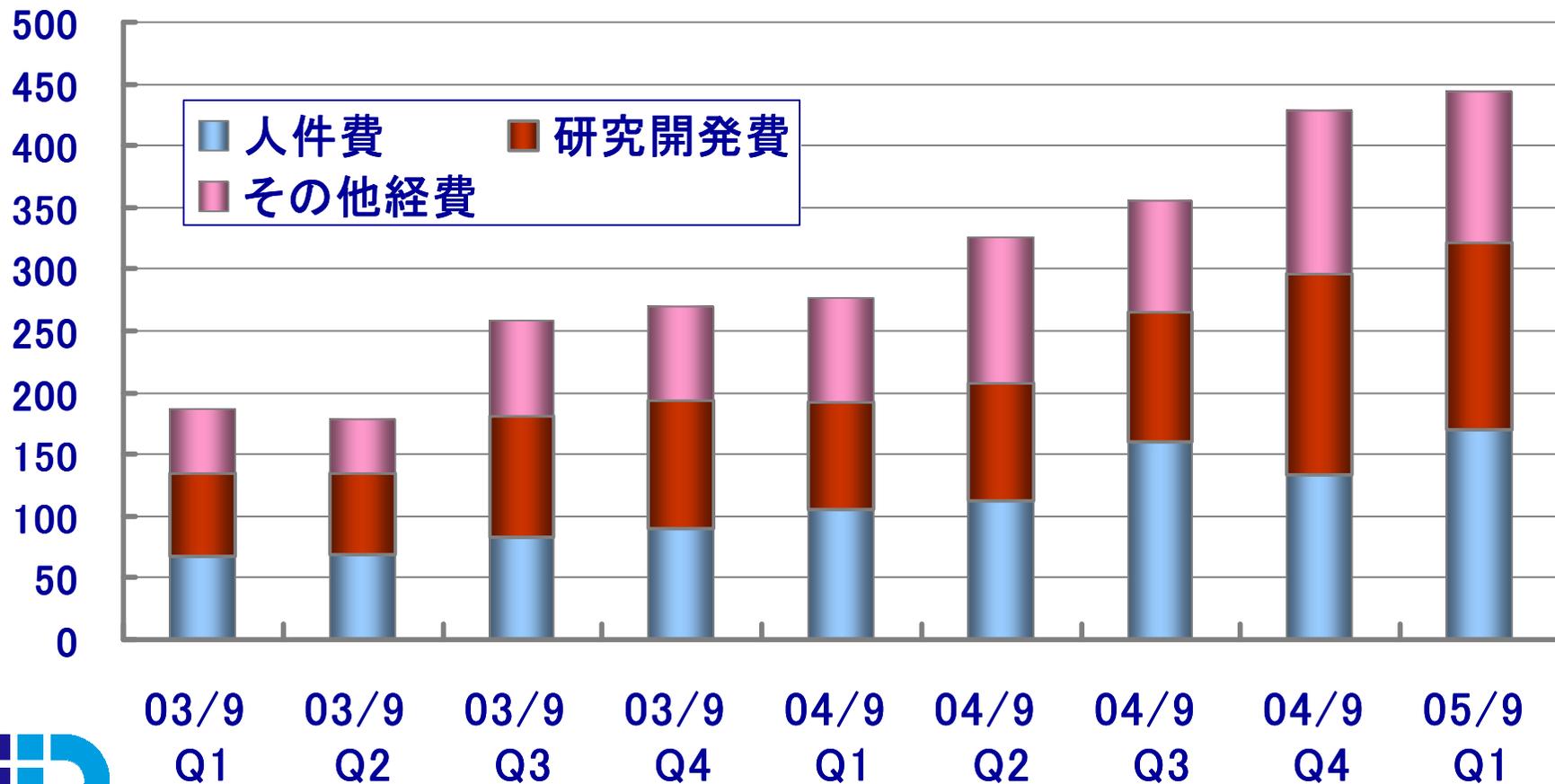
(百万円)

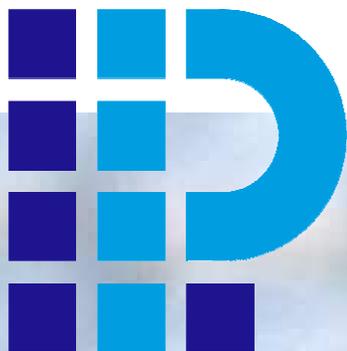


販管費の状況

【4半期ごとの販管費の推移】

(百万円)





足元の業績について

現在の製品展開

今後の製品展開

製品展開

■ハードウェア事業

□ TVキャプチャー

- 昨年12月よりシャープのAVセンターパソコンにソフト・ハードを搭載
- 従来製品の順調な拡大、大手メーカーに加えてホワイトボックスの採用も増加
- いよいよ立ち上がるデジタルTVキャプチャーボードの製品化

□ シリコンチューナー

- 省スペース・低消費電力(ノートPC向け)
- デジタルTV対応へ

■ロイヤルティ事業

- 供給先の拡大(搭載機器の拡大、採用メーカーの拡大)
- TVキャプチャ製品も順調に拡大



TVキャプチャー

TVキャプチャーの主なOEM供給先

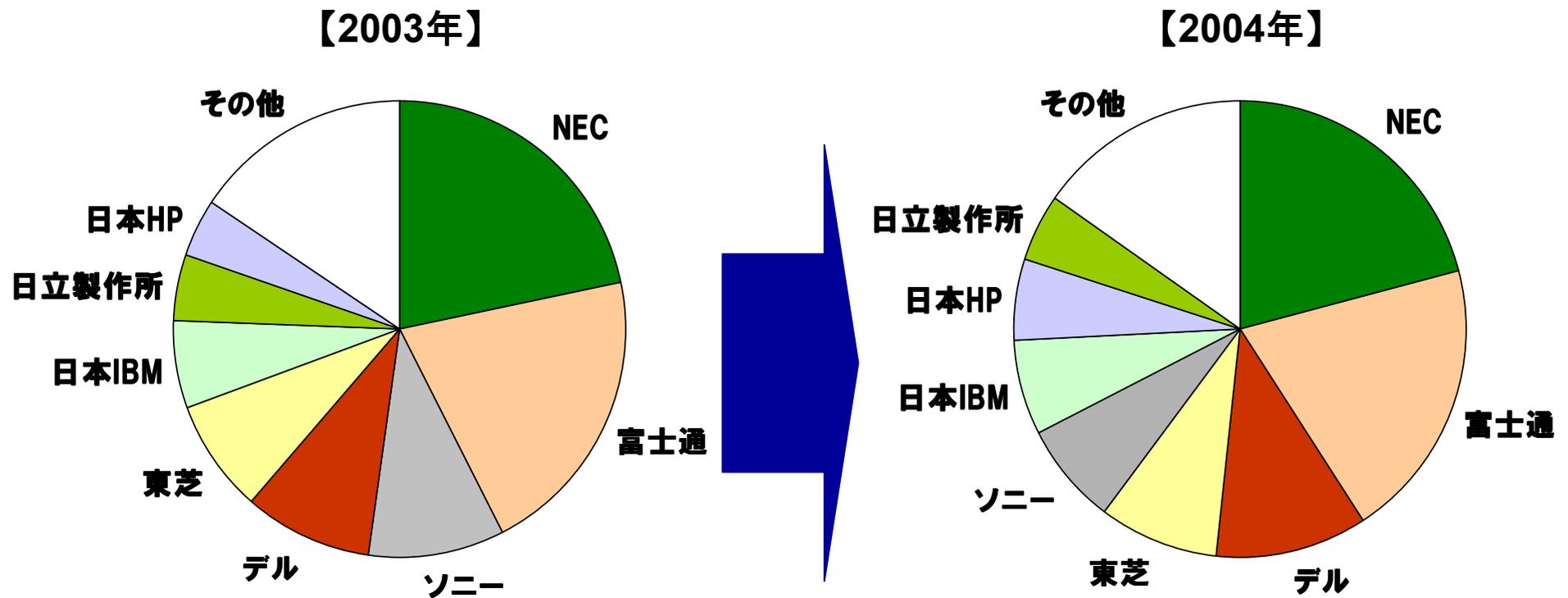
大手メーカーからホワイトボックスに拡大

メーカー名	製品	供給開始時期
富士通	デスクトップ、ノート	2002/9
日立	デスクトップ、ノート	2001/10
デル	デスクトップ、ノート	2003/9
MCJ	デスクトップ	2004/9
アロシステム	デスクトップ	2004/12
シャープ	AVセンターパソコン	2004/12
新規先	デスクトップ	2005/3予定



供給先の拡大

【パソコンの国内出荷シェアの状況】

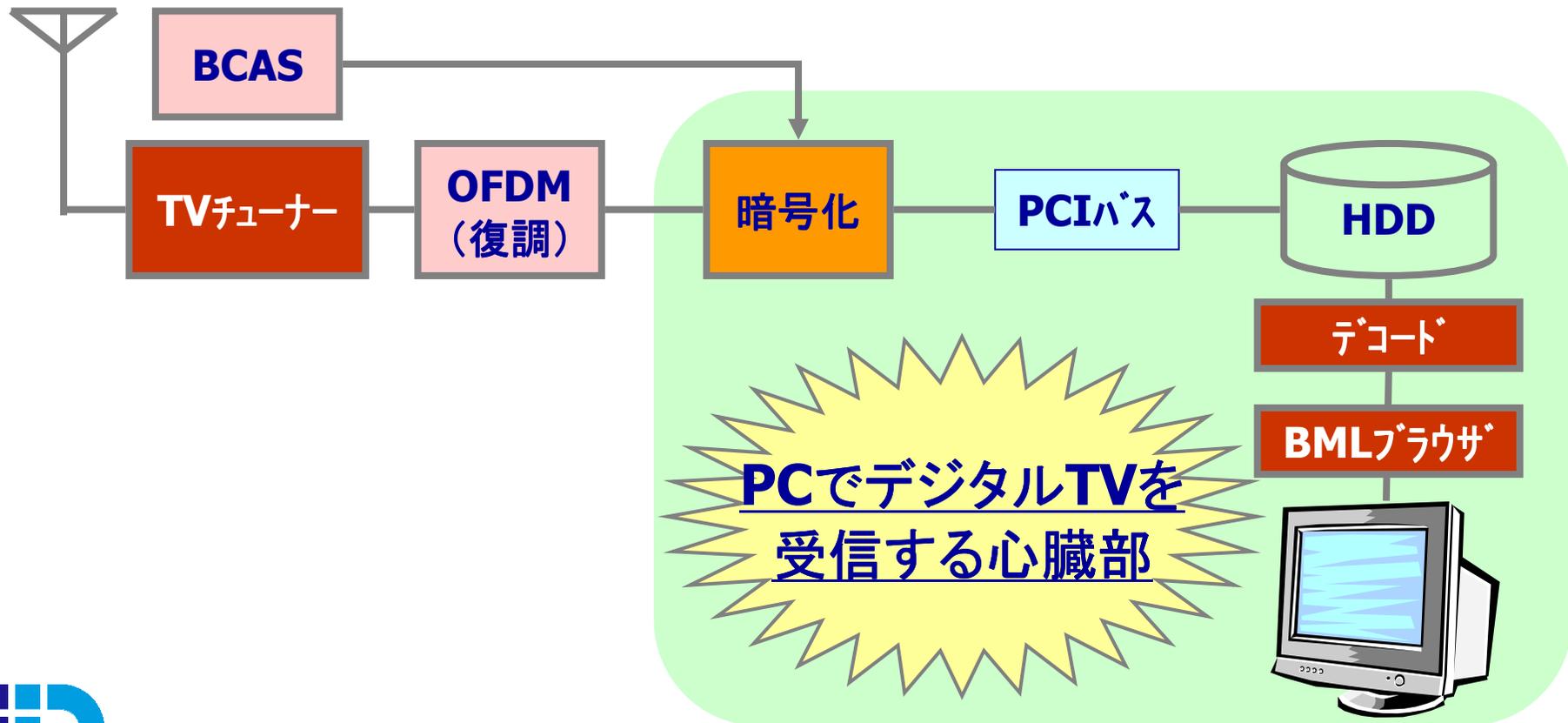


(資料) (株)MM総研



デジタルTVキャプチャー

これまで他社による開発実績ないものがいよいよ製品化



さらなる供給先の拡大が期待

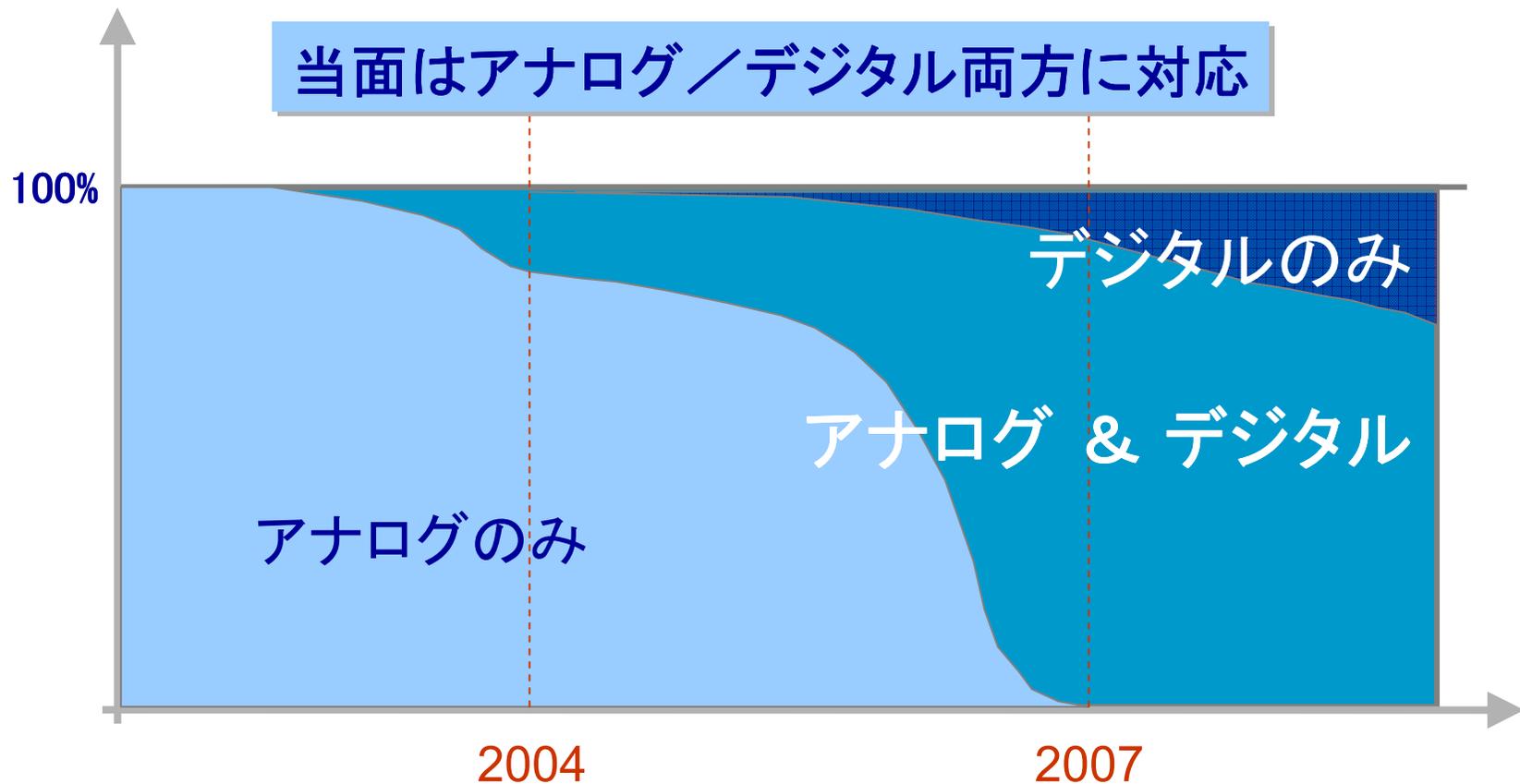
デジタルTVキャプチャー
の開発には非常に
高いソフト・ハードの
技術力が必要

台湾などの海外
メーカーの参入は
非常に困難

デジタルTVキャプチャーを
トリガーに、これまで供給して
いなかったメーカーに採用拡大



デジタルへ向かうPCでのTV受信



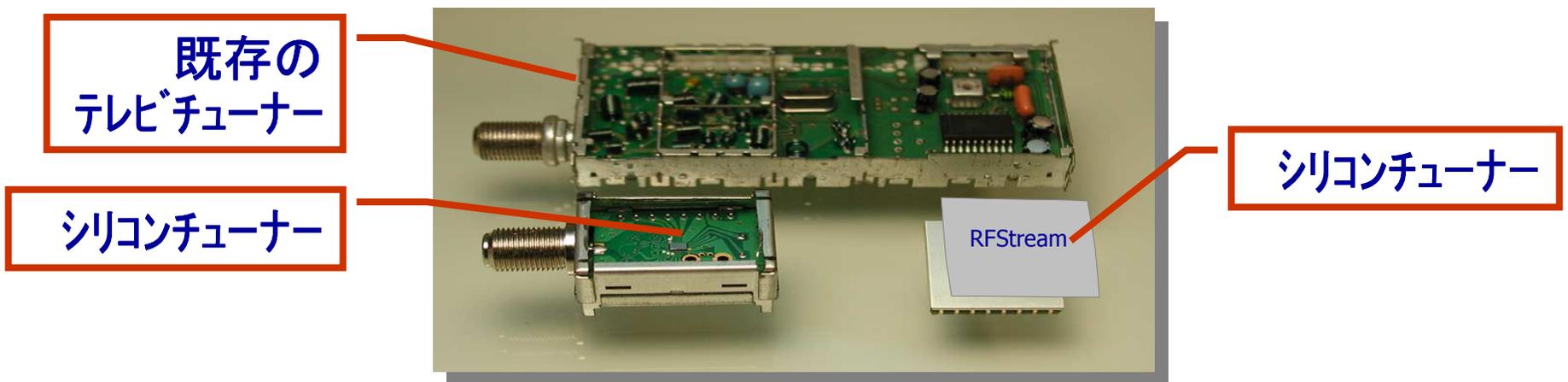
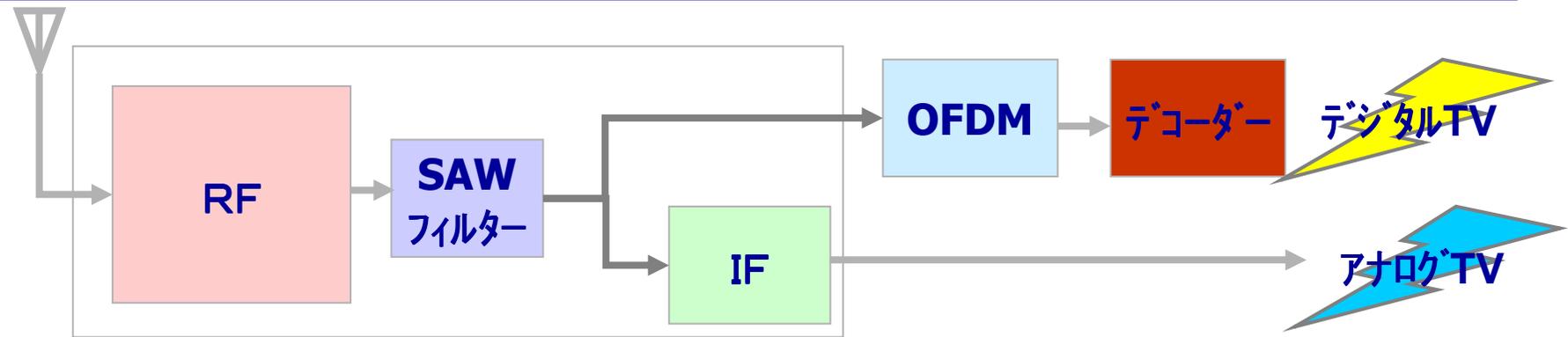
アナログ/デジタル両方の対応が必要

<当社推計>



シリコンチューナー

シリコンチューナーは、アナログTV・デジタルTV両方に対応



デジタル化への流れに乗って採用拡大へ

ロイヤリティ事業

ImageMixerの主な同梱先

順調に供給が拡大する製品およびメーカー

メーカー名	製品	供給開始時期
ソニー	デジカメ、DVC	2002/3
JVC	DVC	2001/10
富士写真	デジカメ	2002/9
オリンパス	デジカメ	2004/10
サムソン	HDDカム	2004/12
新規先	デジカメ	2005/3予定



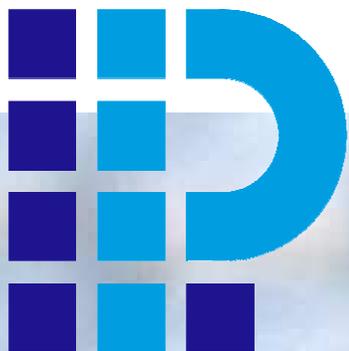
ロイヤリティ事業

TVキャプチャ製品の主な出荷先

順調に供給が拡大する製品およびメーカー

メーカー名	製品	供給開始時期
日立	デスクトップ、ノート	2001/10
富士通	デスクトップ、ノート	2002/9
DELL	デスクトップ、ノート	2003/9
シャープ	AVセンターパソコン	2004/12
MCJ	デスクトップ	2004/9
新規先	デスクトップ	2005/3予定





足元の業績について

現在の製品展開

今後の製品展開

今後の新製品展開①

■ ハードウェア事業

□ PC向け地上波デジタルTVキャプチャーの展開

- ・ PCメーカー向けにOEM販売拡大(05年春以降順次)
- ・ ノートPC向け製品の開発
- ・ 業務用デジタル家電製品への展開

□ 地上波デジタルラジオ機器の展開

- ・ 半導体製造会社との協業で、PDA、デジカメ、携帯電話への展開

□ PCとAV機器を結ぶ新たな機器開発

- ・ PCで培った技術を応用した組み込み機器への展開
- ・ デジタルオーディオの応用機器開発(3Dサラウンド)

□ RF半導体技術を利用した製品の展開

- ・ デジタル・アナログ両対応、ワールドワイド対応シリコンチューナ
- ・ GPS受信モジュール
- ・ UWB製品のフロントエンド



今後の新製品展開②

■ ソフトウェア事業

□ デジカメ・カムコーダへのバンドルビジネス

- ・ HDDカム・DVDカム等の新企画のAV機器へのバンドル推進
- ・ 新規顧客の獲得

□ PC向けTV統合ソフトウェアの展開

- ・ アナログ・デジタルTVの各統合ソフトOEM販売開始
- ・ 一部開発モジュールのライセンスビジネスへの展開

□ 業務系アプリケーションへの展開

- ・ コンシューマー市場で培った技術を業務用アプリに展開



エレクトロニクスの新時代開拓の挑戦

デジタルラジオ

デジタルTV

DVDレコーダ

PC

インターネット

カメラ

携帯電話

携帯音楽プレーヤー

カーナビ

ピクセラのPC・
デジタル家電を
統合する高い
技術力

デジタル
新時代に
ふさわし
い民生機
器の実現



資料取扱上のご注意

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関する見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

